

「第18回新川森林祭」が開催されました

令和5年10月12日（木）、入善町下飯野園家山キャンプ場において、「第18回新川森林祭」が行われました。

「新川森林祭」は、環境保全や潤いと安らぎの提供など多様な役割を果たす森林の重要性について普及啓発するとともに、植樹活動により健全な森林を育成するため、平成10年から植樹活動などを管内市町において開催しています。

18回目となる今年は、入善町合併70周年記念も兼ねて行われました。入善町・東部林業協会・新川森林組合の主催により、笹島春人町長をはじめ、地区住民や飯野小学校6年生ら、約150名が参加し、300本の抵抗性クロマツ（松くい虫に強く、枯れにくいクロマツ）を植えました。松くい虫被害で松林が減少したことから園家山の松林の復活を目指し、地元下飯野地区が中心となり、令和3年度より植樹活動を続けています。

林業関係者、小学生や地元住民の方々は、飯野地区の環境を守り継いでいこうと力を合わせています。小学生らもこの経験を活かし、今後も環境を守っていく姿が見られることを期待しています。みなさんで今回のイベントを通して、緑に触れることの喜びや、緑化推進の意義を感じながら、継続されることを願っております。



参加者全員で記念撮影



笹島入善町長の挨拶



開会式の様子



記念植樹



記念植樹



センター職員による植樹説明



飯野小学校生徒による植樹



地区住民らによる植樹



林業関係者による植樹



記念標柱の設置完了



植樹完了！大きくなりますように…